

管路整備状況 < 2018年度末現在(平成30年度) >

基幹管路 【導送水管及び口径150mm以上の配水管】		配水支管1 【口径100mm・75mmの配水管】		配水支管2(管種・口径不明管含む) 【口径50～30mmの配水管】	
延長①	196,870 m	延長①	342,499 m	延長①	185,349 m
耐震適合管延長②	91,269 m	耐震適合管延長②	34,239 m	耐震適合管延長②	234 m
耐震適合率(①/②)	46.4 %	耐震適合率(①/②)	10.0 %	耐震適合率(①/②)	0.1 %
割合	27.2 %	割合	47.3 %	割合	25.6 %

管路全体(2018年度末)	
総延長①	724,718 m
耐震適合管延長②	125,742 m
耐震適合率(①/②)	17.4 %

【既存】基幹管路耐震化事業		【新】配水支管更新事業		【既存】小口径老朽管更新事業	
計画期間	2014～2033年度(20年間)	計画期間	2019～2038年度(20年間)	計画期間	終期の設定なし
		更新対象管路	※293,471 m	更新対象管路	185,349 m
目標	耐震適合管延長	耐震適合管延長		更新管路 漏水頻度に応じて、 非耐震管で更新 (事後保全) 【約500m/年】	
	2013年度末	2019年度末(見込)	34,954 m		
	2033年度末	2038年度末	162,084 m		
	更新延長	更新延長	128,410 m		
	【年平均】	【年平均】	【6,421】 m		
耐震適合率	耐震適合率	耐震適合率			
2013年度末	2019年度末(見込)	11.9 %	2018年度末(見込)	0.1 %	
2033年度末	2038年度末	47.3 %	2038年度末	0.1 %	
総事業費	52億3,300万円 (年平均2億6,200万円)	総事業費	50億7,050万円 (年平均2億5,400万円)	総事業費 (20年間)	3億円 (年平均1,500万円)

管路全体(2038年度末)	
総延長①	724,718 m
耐震適合管延長②	312,285 m
耐震適合率(①/②)	43.1 %

【参考】年間事業費

事業名	事業費
【既存】基幹管路耐震化事業	2.6億円
【新】配水支管更新事業	2.5億円
【既存】小口径老朽管更新事業	0.2億円
【新】水道施設(ハコモノ)更新事業	0.5億円
【既存】県・市道整備関連等	0.5億円
合計	6.3億円

※2019年度(平成31年度)予算 6.5億円

※ 更新対象管路 : 配水支管延長342,499mの内、ダウンサイジングにより、更新口径の50mm以下への縮径や配水本管(口径150mm以上の配水管)への統合による更新延長の削減を行った結果、更新対象管路が293,471m(49,028m減)となった。